

第40回日本証券アナリスト大会を終えて

大会実行委員長 壁谷 洋 和 CMA
(大和証券)

2025年10月10日に開催された日本証券アナリスト大会は、記念すべき40回目を数え、大盛況のうちに終えることができました。会場参加とライブ配信のハイブリッド開催は、今年で3回目ですが、そのスタイルがすっかり定着し、より多くの皆さまにご参加いただけたことを大変うれしく思います。そのような中で、当日、ご講演いただいた、東原様、楠木様、ならびにパネルディスカッションにご登壇くださった、佐治様、江田様、平野様におかれましては、大変有意義な学び・気づきを与えてくださったことを、参加者・関係者を代表しまして、厚く御礼申し上げます。

AI技術の急速な進展により、国際社会と企業経営の構造が大きく変化する中、日本企業が持続的に企業価値を高めるための戦略的視座が求められています。こうした課題に対し、各分野を代表する第一線のゲストスピーカーをお招きし、知見を共有する場として本大会を開催できましたこと、委員長として大変光栄に存じております。

第Ⅰ部の記念講演では、日立製作所の東原敏昭会長をお迎えし、「日立の事業構造改革と今後のグローバル経営戦略」と題したご講演を賜りました。大胆なポートフォリオ転換やAI・デジタル技術の活用、ガバナンス改革などを通じて、持続



壁谷洋和大会実行委員長

的な成長へと向かう道筋を明快にご説明いただきました。社会課題解決への強い意志と、創業の精神をグローバルに展開する姿勢に、企業としての責任感と未来への可能性を感じた次第です。改めて感謝申し上げます。

また、第Ⅱ部の記念講演では、一橋ビジネススクール特任教授でいらっしゃる楠木建先生から、「逆・タイムマシン経営論」につきまして、ご高説を賜りました。過去の事例に学び、経営の本質を見極めるという視座は、変化の激しい現代において極めて示唆に富むものであり、私たちが陥りがちな思考の罫を鮮やかに照らし出してくださいました。先生の深いご見識と論理的なご講演